KUTSUROGI-TIME vol.40 Spring

くつろぎたいむ

松江赤十字病院広報誌 第40号（2012年 春号）

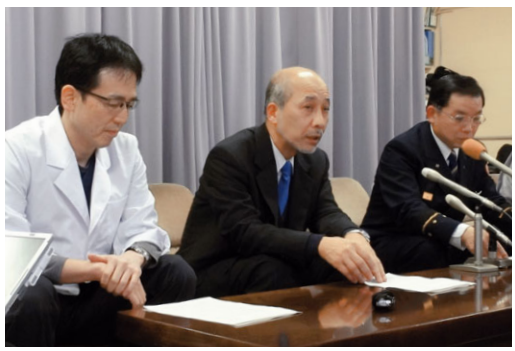
■病院理念　松江赤十字病院は、地域の中核医療機関として、「高度」「良質」「公正」な医療を提供します。

ドクターカー導入

救急部長　佐藤　真也

このたび松江赤十字病院では、ドクターカーの運用を、試験的ではありますが行うことになりました。その名のとおり医師が病院を飛び出し現場まで車に乗って行くわけですが、ドクターヘリ同様最近の救急医療では病院前救護の充実が重点課題の一つになっています。外傷であれ急病であれ、重傷あるいは重症であればあるほどその予後を決めるポイントはいかに早く治療を開始するか、いかに発生、発病に遅れることなく医療資源を投入できるかにあり、ドクターカーあるいはドクターヘリの存在意義はそこにあります。もちろん現行の消防による救急搬送においても観察、応急処置などの行為は行われていますが、医療行為が行えるのは救急隊の中でも救急救命士のみであり、さらに心肺停止患者に限定されるなど、搬送中必要な医療が十分に提供されている状況とは言えません。

当院の行うドクターカーの実際ですが、まず救急要請の段階で外傷であれば「車内に閉じ込められている」「跳ね飛ばされた」などいわゆる高エネルギー外傷と思われるもの、急病ならば「突然倒れた」「呼吸をしていない」などこれらキーワードに合致した内容であれば、救急出動（本隊）と同時に消防から病院へドクターカー出動要請があります。出動となれば別隊の救急車が病院で医師を拾い上げ現場へ向かい本隊とともに活動します。また出動した現場から必要と判断されればドクターカー出動要請を行う場合もあります。



患者個々にメリットがあるのは当然ですが、一方で救急隊においては現場にて直接医療の指導が受けられる、実地トレーニングが行えること、医師においては病院内では想像できない現場活動への理解が深まることは大変有意義であると言えます。またこのように日頃から消防・医療の間に良好な関係、体制を築くことは災害など有事の際に重要です。

当院スタッフの関係上24時間、365日の理想的な運用には程遠く、あくまで試行段階ですが、本格導入へ向けて症例を重ねていきたいと思います。

病棟紹介

こんにちは、7階西呼吸器センターです

7階西呼吸器センターは総勢31名のスタッフが、患者さんに安全で、安心して治療が受けていただけるように日々努力しています。

私たちの病棟はその名のとおり、肺がん、喘息、肺気腫、肺炎などの呼吸器疾患を持つ患者さんを受け入れており、急性期から慢性期、周手術期、終末期まで幅広い病期の方がいらっしゃいます。化学療法や人工呼吸器装着中の患者さんの看護など専門的な知識や技術を有する特殊性の高い病棟でもあります。どんな状況であっても、患者さん一人一人に寄り添い、患者さんの生活スタイルに合わせた、個別性を活かした看護ケアの実践を目指しています。医師や、リハビリ、医療社会事業部などのコメディカルスタッフと密に連携をとり、質の高い医療を受けられる体制をとっています。

また、当病棟の特徴として、感染症病床を2床併設しており、重症感染症にも対応できる設備が整っています。その他にも、気管支鏡検査や睡眠時無呼吸検査を受けられる患者さんなど多種多様です。さらに在宅酸素療法の必要な患者さんに対しては当病棟で在宅酸素療法の導入を行っており、機器の操作方法から退院後の日常生活指導まで丁寧に分かりやすく説明するよう心がけています。酸素を吸入しながらでも自宅での生活を続けていけるよう、退院後の生活をイメージしながら関わっています。そして退院後も定期的に病棟看護師が電話をかけるなど、継続した看護の提供を目指した取り組みも行っています。

これからも、患者さんの笑顔のために明るく元気に頑張ります!!

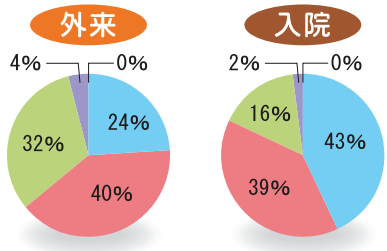
2月に行った患者満足度アンケート結果をご報告します

調査期間：平成24年2月6日～10日　調査対象：外来患者（756名）・入院患者（250名）

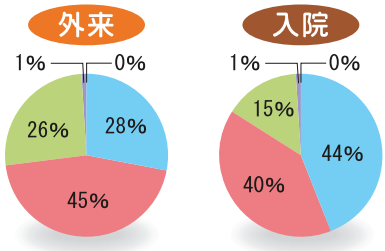
アンケートから読み取ることができる患者さんのお声をしっかりと受け止め、今後はより一層患者さんに満足していただける病院を目指します。

非常に満足　満足　普通　やや不満　非常に不満

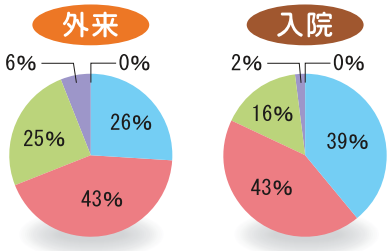
職員は笑顔で対応していますか？



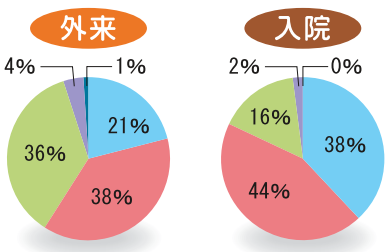
職員の言葉遣いや対応は丁寧でしたか？



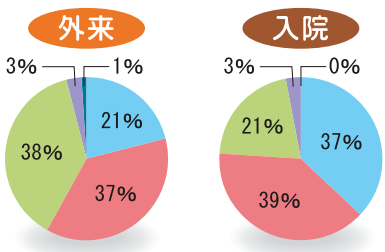
診察及び治療について納得のいくものでしたか？



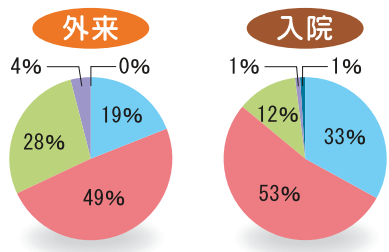
困っているときには職員の方から声をかけてくれましたか？



プライバシーの配慮はなされていましたか？



全体として松江赤十字病院に満足していますか？



日常生活の中で小さな症状や前兆に気づき、
自分の体に関心を持つことは大切。
大きな病気のサインの場合もあり、早期治療にもつながります。

「ドクター教えて　からだ相談室」では
当院の医師が、病気や対処法についてアドバイスします。

相談　排便は毎朝あるのですが、最近は下痢が多くなっています。時々、便に少し血が混じっていることもあります。（55歳、男性）

ドクター教えて からだ相談室 ⑦

今回のドクター

松江赤十字病院
第一外科
田窪　健二　部長

アドバイス　排便時の出血は、痔（じ）による場合も多いですが、大腸の病変からの出血も考えられます。便潜血検査や、必要に応じて大腸内視鏡検査を行い、出血の原因を調べます。

下痢や便秘といった便通異常と出血が見られるときには、大腸の潰瘍（かいよう）や腫瘍（しゅよう）などの可能性があります。40代以上の人で出血がある場合は、がんも念頭に置いて検査します。出血などの自覚症状がなくても、便潜血検査が陽性となったことを端緒に、極めて小さな腫瘍が見つかるケースもあるからです。

便の異常と大腸がん
出血は腫瘍の可能性も

日本人の死因の第1位であるがんの中でも、大腸がんは肺がんとともに増加傾向にあります。患者は女性よりも男性がやや多く、発生頻度は40代から徐々に高くなっています。

大腸内視鏡検査や、バリウムを使ったエックス線検査は、肛門（こうもん）から内視鏡カメラやバリウムを入れるため、下剤の入った水を飲んで大腸内を空にするなどの前処置が必要です。これらの検査によって潰瘍や腫瘍の有無、良性か悪性かなどを調べます。腫瘍などのできた場所によって結腸がん、直腸がんなどと呼ばれ、大腸がんはそれらの総称です。

近年、がんの進行度によっては、おなかを大きく切らないで、内視鏡による切除や、腹部に小さな穴を数カ所開けて行う腹腔（ふくくう）鏡手術で腫瘍を取りきれることも多くなっています。外科手術で切除しきれない場合は、放射線治療や抗がん剤を組み合わせます。

早期の大腸がんの場合は自覚症状が見られることは少なく、腹痛や食欲不振、体重減少が現れるのはがんが進行した段階に多い症状といわれます。便の異常を加齢に伴う症状だと自己判断して、がんを見過ごしてしまうケースも見られます。早期に発見して適切に処置すれば、大腸がんを完全に治すことができるため、定期的に検診を受けることも大切です。

平成21年8月19日付山陰中央新報より転載

2～4月 採用医師紹介
introduce　Hello Doctors

膠原病・腎臓内科　松村　武史

4月に島根大学より赴任してきました。リウマチ・膠原病を中心に地域の皆様のお役に立てればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

消化器内科　實藤　宏美

4月より消化器内科に赴任した實藤宏美と申します。8年ぶりの松江で専門の肝臓を中心に頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

消化器内科　花岡　拓哉

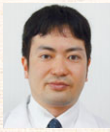
わかりやすい説明をモットーにしています。皆様に安心して医療を受けていただくように努力していきます。宜しくお願いいたします。

消化器内科　板倉　由幸

4月より消化器内科で勤務させていただきます。岡山大学卒業後、2年間研修医としてお世話になりました。今後は消化器疾患を中心に少しでも皆様の健康のお手伝いができればと思います。

循環器内科　杉原　志伸

4月より鳥取大学循環器内科から松江日赤に赴任して参りました。精一杯日々の勤務に精進いたします。よろしくお願いいたします。



呼吸器外科　岡部　亮

呼吸器外科の岡部と申します。初心を忘れず、誠心誠意診療いたします。何卒、よろしくお願いいたします。

小児科　樋口　強

7年ぶりに地元の松江に戻りました。お役に立てればと思います。よろしくお願いいたします。好きなものは温泉とクラシック音楽です。

外科　藤井　雄介

4月に島根大学から赴任して参りました。地域の皆様に支えられながら、自らの研鑽を積み、それを皆様に還元できるよう努力する次第です。何卒、よろしくお願いいたします

形成外科　槇野　祥生

4月から勤務させていただくことになりました。形成外科は体の目に見えるところを扱う外科です。お困りのことがあれば、気軽にご相談ください。

泌尿器科　佐藤真由子

4月に鳥取大学から赴任してきました。5年前にも半年間松江日赤に在職していたことがありますが、今回はまた気持ちを新たに頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

麻酔科　河原　卓美

4月に出雲から赴任してきました。主治医･担当医に比べ、患者さんご自身と接する機会は少ないかもしれませんが、術者には最高の手術環境の提供を、患者さんには痛みのない安全な周術期の提供を心がけて頑張っています。よろしくお願いいたします。

放射線科　仲松　暁

4月に新しく赴任しました。松江での勤務は初めてですが、画像診断を通して質の良い医療を目指して頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いします。

歯科口腔外科　中林　基

4月より歯科口腔外科採用となりました。これからは松江日赤で、大学病院や関連病院で経験し学んだことを生かして頑張りたいと思っています。よろしくお願いいたします。

料理の世界

春を代表する鰆～サワラ～

栄養課調理師　奥野　将徳

魚へんに春と書くように春を告げる魚の代表「鰆」。鰆の漢字の由来は春に多く獲れることからで、春が旬の魚を意味しています。瀬戸内海では春が漁期で旬でもあり、特に岡山ではバラ寿司には欠くことのできない食材で人気の高い魚です。また、産地によって旬が異なり、冬に獲れる寒鰆も美味。淡白でクセのない白身で、照り焼き、西京焼き、竜田揚げ、フライ、煮物などにお勧めです。選ぶときには、目が澄んでいて皮が美しい銀色でツヤと張りのあるものを選びましょう。

サワラぬ神に祟りなしと言われるほど身割れしやすく扱いには技術が必要。鰆は大きさによって呼び名が変わる出世魚で、40～50㎝をサゴシ、サゴチ、50～60㎝をナギ、ヤナギ、それ以上をサワラと呼んでいます。古来日本では冠婚葬祭に必須の魚で、昔はあまり獲れず高級魚でした。

鰆は良質なたんぱく質を多く含み、EPAやDHAなど血液をサラサラにする不飽和脂肪酸にも富んでいます。ひとくち食べれば早春の息吹を想い起こさせてくれるのではないでしょうか。

平成24年度［前期］健康医学講座

申込・問い合せ先▶医療社会事業部
TEL（0852）24-2111

受講料　無料

6月13日（水）　場所：低層棟6階会議室1・2
14時～15時30分
放射線の人体影響
講師：放射線科部長　森岡　伸夫

7月5日（木）　場所：低層棟6階会議室1・2
14時～15時30分
不整脈（心房細動）について
講師：循環器内科副部長　井上　義明

8月23日（木）　場所：低層棟6階会議室1・2
14時～15時30分
運動療法について
講師：リハビリテーション科部長　笠木　重人

9月5日（水）　場所：県立図書館1階集会室
14時～15時30分
吸わされていませんか？～本当に怖い受動喫煙の話～
講師：呼吸器外科部長　磯和　理貴

10月18日（木）　場所：低層棟6階会議室1・2
14時～15時30分
うつらない・うつさないための感染予防～冬にむけての感染症対策～
講師：感染管理認定看護師　土江　和枝

平成24年度［前期］外来糖尿病教室

※毎回予約制　申込・問い合せ先▶担当保健師　吉岡　TEL（0852）24-2111
※糖尿病手帳をお持ちの方はご持参下さい。

5月30日（水）　コントロールの指標
時間／10:00～13:30　場所／低層棟6階会議室1・2
- 糖尿病と検査……糖尿病・内分泌内科部長　佐藤　利昭
- 献立を立てるときのヒント～こんな工夫はいかがですか？～……管理栄養士　安原みずほ
- ワンポイントアドバイス　検査室から……臨床検査技師

体験談　「明日が来るという幸せ」　すこやか会会員　田村　捷子

食事会　見て楽しい、食べておいしい技ありメニュー

7月18日（水）　インスリン抵抗性とは？
時間／10:00～13:30　場所／低層棟講堂
- インスリン抵抗性を改善させるために……糖尿病・内分泌内科副部長　垣羽　寿昭
- カロリーオーバーになっていませんか？～1日の食事量を見直してみましょう～……管理栄養士　乙社あかり
- ワンポイントアドバイス　家の中でできる運動Part.1……理学療法士　渡邉　剛

体験談　「二人三脚の自己管理」……すこやか会会員　加藤　洋

食事会　こんなにあるのに低カロリー

9月19日（水）　糖尿病と他の病気の関連をさぐる
時間／10:00～13:30　場所／低層棟講堂
- 糖尿病と骨粗鬆症……糖尿病・内分泌内科部長　佐藤　利昭
- 偏った食事になっていませんか？～食事のバランスを確かめてみましょう～　管理栄養士　引野　義之
- ワンポイントアドバイス　薬の飲み方の基本……薬剤師　川谷　恭典

体験談　「一日一日を大切に」……すこやか会会員　門脇ミサエ

食事会　秋を感じるバランスメニュー

松江赤十字病院『患者さまの権利章典』

「医療は、患者さまと医療提供者とのお互いの信頼関係をもとに協力して作り上げていくものであり、患者さまに主体的に参加していただくことが必要です。」
このような考え方にもとづき、松江赤十字病院は、患者さまの権利や責務についてつぎのとおり表明します。

1. 患者さまには、医療提供者との相互の協力関係のもと、良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 患者さまには、診療に関して十分な説明と情報の提供を受ける権利があります。
3. 患者さまには、医療に関する説明を受けてもよく理解できなかったことについて十分理解できるまで質問する権利があります。
4. 患者さまには、医療従事者が提案する治療法に対して自らの意思で決定できる権利があります。
5. 患者さまには、診療の過程で得られた個人情報の秘密が守られる権利があります。
6. 患者さまには、医療提供者に対し患者さま自身の健康に関する情報をできるだけ正確に提供する責務があります。
7. 患者さまには、病院の規則を守る責務があります。

松江赤十字病院　研修広報委員会　〒690-8506 松江市母衣町200番地 TEL（0852）24-2111 FAX（0852）31-9783
松江赤十字病院ホームページ URL http://www.matsue.jrc.or.jp/
松江赤十字病院公式ブログ「松江日赤ブログ」 URL http://blogmrch.blog112.fc2.com/